

平成29年度もほぼひと月が過ぎました。新しい世界に触れて多くの刺激を受けると時間が経つのが遅く感じられる、という説明を聞いたことがあります。4月7日来洪した私にとっては、正にこの説明通りの日々でした。4月の終盤は半月以上の時間が経っていたというのに、月日や曜日の感覚が整わず頭が混乱したこともありました。始業式や入学式が続き、何をしてもよいのか状況が掴めずあたふたしていた日が随分と昔にも感じます。

戸惑う私とは正反対に、子供たちはしっかりと日々の教育活動をスタートしています。先日の保護者授業参観ではお子様たちの様子をご覧いただきました。お休みの日にも関わらず大勢の保護者の皆様にお出でいただき、ありがとうございました。お父さんやお母さんに学習しているところを見てもらおうと、大張り切りの子供たちの姿が印象的でした。小学部の1・3年生では児童数が多く、教室に入りきれない保護者の方も多く、ご迷惑をお掛けしました。児童・生徒数は学校側としてはできるだけ情報を収集して対応に当たっておりますが、予測しきれないことも多く、その年々の対応になりますこと、ご了解ください。

保護者全体会では本年度の学校運営の概要についてお話をいたしました。（概要につきましては「学校教育全体構想図」をご参照ください）今年度も18名の教職員で学校教育活動の実践に取り組んでまいります。派遣教員につきましては3名の帰国に対して3名の派遣となり、全体でも昨年度同様の人数で子供たちの支援にあたります。入学式の式辞でも触れましたが、子供たちが「心身ともに健康で安全に学校生活を送る」ことを第一義にして教育活動を推進してまいります。

4月最終週からは学級懇談会も始まりました。懇談会の前には授業も参観していただいておりますので、授業の様子や学級担任の経営方針など、よりご理解を深めていただけるものと思います。何かご心配なことなどございましたら、ブダペスト1年生の小職が申し上げるのも少々憚られるところですが、どうぞご遠慮なくお声をかけていただければと思います。



授業参観



P T A 総会